【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2003-279566(P2003-279566A)
【公開日】平成15年10月2日(2003.10.2)
【出願番号】特願2002-79634(P2002-79634)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０１Ｎ　33/50
　Ｇ０１Ｎ　21/64
　Ｇ０１Ｎ　21/78
　Ｇ０１Ｎ　33/15
　Ｇ０１Ｎ　33/566
【ＦＩ】
　Ｇ０１Ｎ　33/50　　Ｚ
　Ｇ０１Ｎ　21/64　　Ｅ
　Ｇ０１Ｎ　21/64　　Ｆ
　Ｇ０１Ｎ　21/78　　Ｃ
　Ｇ０１Ｎ　33/15　　Ｚ
　Ｇ０１Ｎ　33/566

【手続補正書】
【提出日】平成17年3月18日(2005.3.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　一分子蛍光分析により、第一の結合部位と第二の結合部位を有する受容体に最適に結合可能な物質をスクリーニングする方法であって、
　第一の結合部位に結合可能な物質を探索する工程と、
　前記工程により得られた該第一の結合部位に結合可能な物質の構造最適化を行う工程と、
　前記工程により得られた該第一の結合部位に最適に結合可能な物質が、該受容体に結合している条件下で、該第二の結合部位に結合可能な物質を探索する工程と、
　前記工程により得られた該第二の結合部位に結合可能な物質の構造最適化を行う工程とを具備することを特徴とする方法。
【請求項２】
　一分子蛍光分析により、第一の結合部位から第ｎの結合部位までｎ個（ｎは２以上の整数を表す）の結合部位を有する受容体に最適に結合可能な物質をスクリーニングする方法であって、
　第一の結合部位に結合可能な物質を探索する第一の工程と、
　前記第一の工程により得られた該第一の結合部位に結合可能な物質の構造最適化を行う第二の工程と、
　第一の結合部位から第（Ｘ－１）の結合部位まで（Ｘ－１）個の結合部位に結合可能な各物質がそれぞれ該受容体に最適に結合している条件下で、第Ｘの結合部位に結合可能な物質を探索する第三の工程と
　前記第三の工程により得られた該第Ｘの結合部位に結合可能な物質の構造最適化を行う

第四の工程とを具備し、
前記第三の工程と第四の工程が、Ｘ＝２からＸ＝ｎまで順次（ｎ－１）回繰り返されることを特徴とする方法。
【請求項３】
請求項２に記載の方法であって、
該第一の結合部位に最適に結合可能な物質から該第ｎの結合部位に最適に結合可能な物質までｎ個の物質を、それぞれ連結させるためのリンカーの長さ、構造についてスクリーニングすることにより、該受容体に最適に結合可能な物質を調製する工程を更に具備することを特徴とする方法。